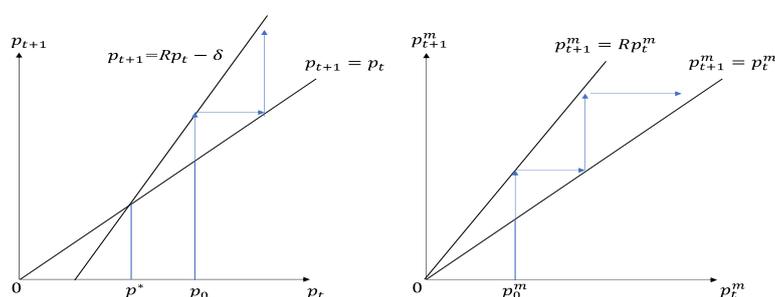


I 複数の資産に同時発生するバブルの発散経路に関する研究

既存の資産価格バブルの研究は主に定常状態に焦点を当てている。定常状態では、バブルはGDPと同じ率でしか成長できないため、バブルの一番の特徴である資産価格の急上昇を完全に捉えていない可能性が存在する。この研究では、複数の資産に発生するバブルの発散経路の分析を行ない、急激に成長するバブルの特徴を明らかにしている。現在、不確実性のない状況では、小国解放経済の仮定の下で、二つ資産に同時に発散経路を持つバブルが経済に発生することを明らかにした。以下の図は二つの資産のバブルの動学を示している図である。二つの資産がともに成長していく発散経路を均衡として定義できることを示した。



現在は、上記の結果をもとにバブルの崩壊の分析を行なっている。発散経路のどの段階でバブルが崩壊するのかで経済に与える影響は異なってくる。また二つの資産のバブルが同時に崩壊するのか、片方のバブルの崩壊がもう片方のバブルの崩壊を誘発するかなどを分析している。

II バブルと起業家リスクに関する研究

起業家のリスクとバブルの相互依存関係の研究を行なった。最近のバブルの研究では、借入制約がバブルの発生と、そのマクロ経済効果を分析するのに用いられるが、本研究では、借入制約がなくても、無限期間生存する経済主体のモデルを用いて、①バブルが発生し、②バブルは経済成長を促進することを明らかにした。特にバブルは起業家のリスクを吸収する効果があり、その効果が経済成長を促進することになる。本研究で新たに明らかにしたこのバブルの効果を、現在他の研究にも応用している。